

中野区教育委員会会議録

令和4年第19回定例会

令和4年7月1日

中野区教育委員会

令和4年第19回中野区教育委員会定例会

○日時

令和4年7月1日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時18分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 村杉 寛子

教育委員会委員 田中 英一

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

○欠席委員

教育委員会委員 岡本 淳之

○出席職員

教育委員会事務局次長 青山 敬一郎

参事（子ども家庭支援担当） 小田 史子

子ども・教育政策課長、学校再編・地域連携担当課長

濱口 求

指導室長 齊藤 光司

学校教育課長 松原 弘宜

○書記

教育委員会係長 香月 俊介

教育委員会係 伊藤 芽依

○会議録署名委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 村杉 寛子

○傍聴者数

5人

○議事日程

1 報告事項

(1) 事務局報告

- ①令和4年度海での体験事業の実施について（学校教育課）

○議事経過

午前 10 時 00 分開会

入野教育長

それでは定足数に達しましたので、教育委員会第 19 回定例会を開会いたします。

議事に入ります。

本日の会議録署名委員は村杉委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりでございます。

それでは日程に入ります。

<教育長及び委員活動報告>

入野教育長

報告事項に入ります。

教育長及び委員活動報告について、事務局から報告する事項は特にございませんが、各委員から活動報告がございましたらお願いいたします。

村杉委員

2 日前に、移動教室前の健診をしてまいりました。

今新型コロナウイルス感染症や熱中症ももちろん大切なのですが、それぞれ病気を持った子どもたちも、もちろんいます。てんかんの子や、食物アレルギーでアナフィラキシーを起こすような子もいます。てんかんの子なども、プールの中で発作を起こすと命とりになるようなこともありますし、もちろんアナフィラキシーも同様で、あと心臓疾患の子どもたちも、とても命とりになるような状況が起きる可能性があります。

なので、このような病気の子どもたちにも、引き続き配慮をしていただけるよう、よろしくお願いいたします。

入野教育長

ありがとうございます。他にご報告はよろしいでしょうか。

それでは私のほうから、6 月 20 日に東京都小学校道徳教育研究会の定期総会と講演会が 3 年ぶりに対面で行われまして、今年は都の道徳の研究会の会長が令和小学校の校長になりますので、令和小学校で行われました。

今年、道徳の成り立ちからいっても 60 周年を迎えるということで、今年 60 周年をどうやっていくかなというお話と、教科化になりましてから 5 年ということで、学習指導要領に先駆けて教科化の動きがありましたので、5 年たったということで、そろそろ道徳の課

題をしっかりとまた捉え直して、教科としての課題を捉え直して、先へ進もうというお話をありがとうございました。

私のご挨拶をさせていただいてきたのですが、講演は当時教科化のときの教科調査官でいらした赤堀先生が、今は大学の先生でいらっしゃいますけれども、講演をしていただいたようでございます。

道徳の特性を生かした授業、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うということで、また今年1年研究をしていくようでございます。本区の道徳のほうの研究者、研究している校長先生はじめ先生方も参加をしているという状況でございました。

道徳は、教育委員会でも教科化のときに教科書採択を別にしましたので、そのときにも随分時間をかけてご協議いただきましたので、そのようなお話もさせていただいてきたところでございます。

いずれ東京で、また大会があるようございますので、そのようなお話も出てくるかなと思います。

だんだんと先生方の研究組織が動き始めていまして、いろいろな、小学校にしても中学校にしても、対面で研究会を行うような流れがまた出てきているようなところでございます。

以上でございます。

ほかにご意見、ご発言がございませんでしたら、委員活動報告を終了いたします。

<事務局報告>

入野教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告、「令和4年度海での体験事業の実施について」の報告をお願いいたします。

学校教育課長

では、「令和4年度海での体験事業の実施について」ご報告いたします。

この事業は、平成24年度から実施をいたしまして、今年度で9回目を迎える事業でございます。新型コロナウイルス感染症の感染状況によりまして、一昨年度、昨年度と中止をしていた事業でございます。

資料に沿ってご報告いたします。

1番、事業の目的でございます。海の特徴を活かしたプログラムを通じまして泳力の向上や危険を回避する技術を取得するなど、生きる力の育成を含めた自己の可能性を伸ばす

とともに、学校とは異なる環境の中での集団生活を通じ、互いを尊重しあう心を育て、学校生活の向上にも資するものでございます。

2番、事業内容でございます。実施場所は千葉県南房総市岩井海岸岩井海水浴場。実施内容は、記載のようなレスキュー講習、救命用具講習、ボディーボードなどでございます。小学校4年生から参加をいたしますので、体力等に見合っ実施できる内容でございます。

3番、参加者の負担は1万5,000円。就学援助受給世帯は5,000円でございます。

4番、対象児童でございます。区立小学校の4・5・6年生で参加を希望する者。

5番、定員及び参加申込み人数でございますが、定員が1回70人、8回のクールということで560人、参加予定人数でございますが、6月27日の人数でございますけれども、この日現在で516名となっております。

実施日程は資料のとおりでございます。なお、括弧内に記載の学校がございますけれども、注釈にありますとおり、定員を超過した回につきまして、参加者のご希望を伺った上で、他の回への振り分けを行っております。したがって、最終的にはこの所属のとおりとはなってございません。

裏面をごらんください。7番、受託事業者でございます。安全な実施のために、水泳指導、生活指導、看護、それぞれ専任の事業者にて委託をして実施をいたします。具体的には記載のとおりとなっております。

8番、教員向け研修の実施でございますが、日帰りまたは宿泊といたしまして、資料に記載のような内容を用意してございます。今後、対象の方への案内を行う予定となっております。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

ただいまの報告につきましてご発言がありましたらお願いいたします。

田中委員

説明ありがとうございました。今年度は久しぶりに開催できるということで、よかったと思っています。

皆と何人かで集団生活をしながら、安全教育を含めていろいろ受けられる大変貴重な機会だと、何年か前に僕も1回視察に行ったことがあるのですがけれども、感じました。

イメージとして教えてほしいのですが、1日子どもたちがどんな感じで、海に行ったり、あるいは宿舎に戻ってみんなと一緒に少しレクリエーションしたりと、1日のイメー

ジが少しわかったらと思うのですけれども、教えてください。

学校教育課長

一応、2泊3日のスケジュールでございますけれども、初日は早朝の7時半に区役所のほうにお集まりいただき、8時に出発をいたしまして、正午に現地に到着する。そして、当日の午後から水泳の指導を開始するということですが、まず、バディ方式といって、2人組になるということから、確認をする。それから水泳の指導を、まず命を守る方法というところから始めると聞いております。大体4時前ぐらいには指導を終了いたしまして、そして宿舎のほうに戻り、夕食をとり、それから後は、7時以降は夜のお楽しみの時間帯を設ける。それで、9時には消灯するということが1日目。

2日目になりましたら、6時半には起きていただいて、7時になり、朝の体操をし、それから朝食をとって、水泳の指導につきましては、9時から午前中、まずは行って、その後はまた1時半ぐらいから、水泳の指導を開始いたしまして、前日と同じように4時ぐらいまでで終了するということです。一応予定されているプログラムの中で、班ごとでの遊泳ですとか、あとはスタンドアップパドルボードとか、ボディボードとか、そういう用具を使った、水泳がそれほど得意でないお子さんでも楽しめるような内容になっていると聞いております。あと、この日も前日と同じように7時ぐらいからはナイトプログラムがあり、9時には消灯すると。

3日目につきましては、一応、午前中、9時から11時ぐらいまでは水泳指導が行われるということで、そして昼食をとってから帰宅をします。5時前には中野のほうに戻る。こんなスケジュールと聞いてございます。

田中委員

とても楽しそうなプログラムで、こういう時期ですので、また安全には配慮して、実行していただければと。よろしく申し上げます。

伊藤委員

多分、子どももすごく楽しみにしてくれるのではないかなと思って、申込みの方も多かったもので、よかったなと思いました。

水ということもありますので、安全ということ、とても大事になると思います。そして、生活全体を指導していかなければいけないので、大変だなと私も視察に行って思ったのですが、今回、委託事業者の選定等につきまして、工夫された点とか、何かございましたら教えていただければと思います。

学校教育課長

先ほど、冒頭のご説明でも申し上げましたけれども、実は今回といいますか、実際のところは昨年度からなのですけれども。事実上、実施は今年度から初めて、受託事業者を三つに分けるというやり方をとっております。

水泳指導につきましては、例えば体育指導専門のところ、それから、それ以外の生活指導等々については、JTB、旅行会社ですけれども、こちらのほうに。看護業務というところで、一応2人随行させるというところで、それぞれの得意分野に専念ができるような形にしたいと考えております。

ただ、初めてこういう形態をとりますので、円滑に進むかどうかというところもありますので、私ども学校教育課の職員のほうも随行いたしまして、そういった間隙ができないかどうかというところを確認してまいりたいと考えております。

伊藤委員

専門、専門で分けていただけるということで、手厚い指導になるといいなと思うのですが、事業者が分かれることもありますので、事業者相互の連絡ですとか、チームワークも大事になるのかなと想像いたしますので、そういったことについても、ご配慮、ご指導いただければと思います。

よろしく願いいたします。

村杉委員

先ほども、移動教室前の健診のお話をしましたが、移動教室前の健診は健康調査票みたいなものを過去2週間にわたって、子どもたちが書いているのを見せてもらって、最近は夜寝る時間も遅いので、寝た時間、起きた時間も記入されているんですね。食欲とか、排便の様子とか、体の調子。そういうのを見て、整えて、移動教室に送り出すようなことができますが、この宿泊行事は、夏休みの中にあるような感じですので、できればそれまでの体調を、なるべくみんなに整えて、海ですので、そのあたりをよくお話ししていただければと思いますのと、あと、先ほども申し上げましたように、基礎の病気のある子たち。てんかんや心臓病やアレルギーのある子たちの、きっとご家庭からの申送りがあるかと思っておりますので、それぞれの子どもに関わる先生方、看護師さんも含めまして、よく申送りをしていただければと思います。

よろしく願いいたします。

入野教育長

何か対応策などはございますか。

学校教育課長

今、村杉委員におっしゃっていただいた、参加前の健康情報というところで、それと同様の対応を考えてございます。

それから、参加申込書のほうに、登録情報ということで、例えばアレルギーのことですか、そういったことに関しましては、こちらのほうからまずは参加者のほうにお問合せをする。あるいは、必要に応じた形で、情報を収集するというところについては、ご了解いただきたいというところで、ご案内は差し上げております。

それからまた、ご案内のとおり、明日説明会を実施するわけなのですが、やはりこういう点が参加にあたって不安であるとおっしゃっておられる保護者の方もいらっしゃいますので、そちらのほうにつきましては、十分ご事情をお伺いしたところで、安全な参加ができるような形で、対応してまいりたいと考えております。

入野教育長

ほかによろしいでしょうか。

それではご発言がございませんので、本報告は終了いたします。

事務局からその他報告事項はございますでしょうか。

学校再編・地域連携担当課長

それでは、私からは学校統合委員会等の状況につきまして、口頭にてご報告させていただきます。

鷺宮小学校・西中野小学校の統合委員会は、令和6年4月の統合及び旧第八中学校に設置をいたします統合新校への移転に向け、現在協議を進めております。

平成30年7月に統合委員会を設置いたしまして、令和2年6月までに11回開催をいたしました。主に統合新校の基本構想・基本計画、基本設計等について協議をしてまいりました。

統合委員会は令和2年7月から令和4年3月まで休会をしておりましたが、今年度5月より再開してございます。

今後、令和6年2月ごろまでに9回開催を予定しております、その中で校名、校歌、校章、学校指定品等について協議を行う予定としてございます。

また、南台小学校改築及び移転準備連絡委員会と、中野本郷小学校改築推進委員会につきましては、ともに令和元年度に設置いたしまして、現在までに5回開催しております。

今後につきましては、学校関係所管と調整を図りながら、適宜開催していく予定でございます。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

ただいまの報告につきまして、ご発言がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは本報告は終了いたします。

最後に事務局から、次回開催について報告願います。

子ども・教育政策課長

次回の教育委員会は7月8日金曜日10時から、当教育委員会室で開催いたします。

以上でございます。

入野教育長

それでは以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして教育委員会第19回定例会を閉じます。

ありがとうございました

午前10時18分閉会